

佐久間長敬 さくま ながあき 舊町奉行與力。天保十年江戸八丁堀生れ。大正十  
二年一月歿（八三元―一九三）。通稱彌大吉、鑓二郎、健二郎。代々江戸  
町奉行組與力。嘉永二年與力見習、のち吟味方を經て支配調役兼與力。  
明治元年新設の市政裁判所勤務、五年司法權少判事、足柄裁判所所長、  
次々ついで東京裁判所に轉じると、翌年征韓論に際し同志と共に聯袂辭職。  
二十一年隱居、爾來舊幕時代の裁判に關する著述に従事した。

實弟原胤昭解題「刑罪珍書集・I（江戸の政刑一斑）」（昭和五年四  
月十五日武衣社「近代犯罪科學全集」）に、「刑罪詳説」、「徳川將軍  
御直裁判實記」、「拷問實記」、「吟味の口簿」の著作四篇の他、小  
山松吉執筆「佐久間長敬の略歴」收載。

